

知的障がい・発達障がいへの理解の輪が広がることを願って ～知的障がい・発達障がい者を支援する取組み～ ボランティアグループ「風ふく丘first」と体験学習プログラムの出前講座

知的障がい者や発達障がい者の中には、自己表現やコミュニケーションが苦手な人もいます。その障がいの特性について知らないままに障がいがある人と関わると、誤解や偏見を持ってしまうことがあります。

障がいの特性は一人ひとり異なります。まずは、周囲がその特性を理解し、それぞれに合った対応をすることが大切です。

ボランティアセンターでは、障がいについての基本知識や適切な関わり方を学ぶボランティア養成講座や「障がいの擬似体験プログラム」の実施に取り組んでいます。

● 風ふく丘firstの活動



「風ふく丘first」は、ボランティアセンターで実施した「知的障がい・発達障がい者支援ボランティア養成講座」の修了生で発足したボランティアグループです。

現在、主に取り組んでいるボランティア活動は2つあります。ひとつは、「市内の中学校の特別支援学級や施設の支援活動」です。この活動では、校外学習への付き添いや家庭科の授業でサポートをしています。

もうひとつは、個人からの依頼への対応です。活動は、ダイエットや運動を目的とした散歩の同行をはじめ、プールや習いごと等の余暇活動のための外出支援などです。

個人からの依頼に対しては、その方の特性に応じた対応が求められます。このため、相談支援事業所などの関係機関と連携をとりながら活動しています。

風ふく丘first 代表 中野良春さん

私がこの活動をやって良かったと思う事はたくさんの感動を得られることです。サラリーマン時代では想像も出来なかった障がい者との出会い、又、交流から見られる笑顔への喜び等、新しい発見ばかりです。これらのことが人生の新たな生き甲斐になっています。

私達は障がい者の方々のご依頼にお応えする為に各々の過去の経験を生かしながら新たな活動に挑戦しているところです。現在は12名で活動中ですが、私達の取組みに賛同いただき一緒に活動する方が増えれば、もっと活動の場を拡大出来るのではと考えております。

● 知的障がい者・発達障がい者を理解する障がいの擬似体験プログラム

知的障がいや発達障がいのある人の感じ方の擬似体験をとおして、障がいの特性を実感するプログラムです。これは、福岡市手をつなぐ育成会親の会の有志メンバーによる「手をつなぐ応援隊」が実施しています。この体験の前後には、子育ての体験談や障がいの特性や対応方法についてお話をしています。

福岡市手をつなぐ応援隊 下山いわ子さん

昨年度は30カ所、約790名を対象に講座を実施しました。この講座で大切にしていることは、「わかりやすく」「楽しみながら」です。受講された方の楽しそうな様子を見ると私たちも励みになります。この講座で障がいのすべてを伝えるものではありません。まずは、「障がいを知る」きっかけになればと思います。

これからも、多くの方に知的障がいや発達障がいについて知っていただく取組みを行っていきたいと思います。

講師：手をつなぐ応援隊

時間：1時間半～2時間(応相談)

場所：福岡県内

準備するもの：プロジェクター、パソコン、コピー用紙、筆記用具

参加人数：少人数から50名程度
(応相談)

【お問合せ】福岡市ボランティアセンター TEL：713-0777